

びわ湖ホール・iichiko総合文化センター・札幌コンサートホールKitara・やまぎん県民ホール 共同制作

沼尻竜典作曲 歌劇「竹取物語」

Numajiri Ryusuke / Bamboo Princess

全5景 日本語上演/日本語・英語字幕付

事例紹介

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール



- 琵琶湖畔に位置し、西日本初の“四面舞台”を備えた本格的劇場
- 公共ホール初の専属声楽家**びわ湖ホール声楽アンサンブル**を擁する
- 芸術監督を置き、現在は**阪哲朗**が第3代目を務める
(1代目1996.10-2007.3:若杉弘、2代目2007.4-2023.3:沼尻竜典)
- 国際水準の舞台芸術を、最高の鑑賞環境で提供
- オペラ・コンサート・演劇・ダンス・古典芸能など多彩な公演を開催
- 「創造する劇場」として、特色ある自主制作に注力
- 青少年向けの公演や普及活動にも積極的に取り組む



iichiko総合文化センター (大分県立総合文化センター)



- 大分県の芸術文化の拠点として開館
- 三面舞台を持つ「iichikoグランシアタ」は残響時間2秒で優れた音響性能
- 国民文化祭の会場として2回使用(1998年、2018年)
- 海外オーケストラや歌舞伎、宝塚など多彩な公演を開催
- ジュニアオーケストラ育成にも注力し、
小学生から22歳までが参加



札幌コンサートホールKitara



- 大型パイプオルガンを備えたアリーナ型ヴィンヤード形式の大ホールと、小ホールを併設
- 世界水準の音響設備を誇る音楽ホール
- 愛称「Kitara」はギリシャ神話の楽器と「北」に由来
- パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)など、音楽による国際交流にも貢献
- 音楽芸術の振興と市民参加の場としても活用
- **札幌交響楽団**の本拠地



やまぎん県民ホール (山形県総合文化芸術館)

- JR山形駅から徒歩1分の好立地に立地
- 東北有数の大ホール(2,001席)を備え、山形県の伝統工芸を随所に活用した内装
- オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇・コンサートなど多彩な大型公演を開催
- **山形交響楽団**と**阪哲朗**による継続的なオペラ上演は
県外からの来場者も多く、高い評価を得ている

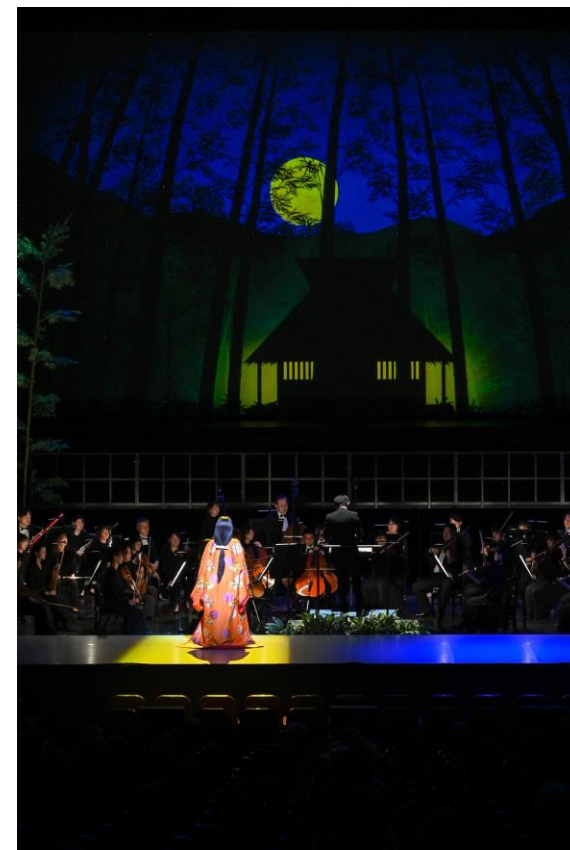


歌劇『竹取物語』(作曲:沼尻竜典1964-)

- 誰もが知る古典物語を原作に忠実にオペラ化
- 日本語での上演
- 昭和歌謡を意識した親しみやすく美しい音楽

【上演歴】

- ・2014年1月 横浜みなとみらいホールにて演奏会形式による初演
- ・2015年2月 ベトナム・ハノイオペラハウスにて日越合同キャストによる舞台初演
- ・2015年8月 びわ湖ホールにて栗山昌良演出による日本初舞台上演
＜第13回三菱UFJ信託音楽賞 奨励賞受賞＞
- ・2020年7月 びわ湖ホール中ホール・新国立劇場中劇場＜中止＞
- ・2022年1月 びわ湖ホール大ホール コロナ禍に合わせセミ・ステージ形式で上演



共同制作にあたって

- 創造性が高く、高水準の公演を
 - ➡キャスト、核となる合唱には「びわ湖ホール声楽アンサンブル」を中心に据える
 - ➡びわ湖 ホール芸術監督、山形交響楽団常任指揮者の阪 哲朗が指揮
 - ➡スタッフはオペラ公演の実績ある一流スタッフ
- 地域の特色ある公演に
 - ➡合唱、管弦楽は各地の音楽家、団体が出演
- 発信力を高める
 - ➡関連企画などの充実
 - ➡広報の相互協力
 - ➡英語字幕、プログラムの作成、HPの作成

キャスティング、スタッフィング



指 揮	阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督、 山形交響楽団常任指揮者)
原 演 出	栗山昌良
演 出	中村敬一
装 置・映 像	増田寿子
照 明	原中治美
衣 裳	大塚満
音 響	小野隆浩(びわ湖ホール)
舞 台 監 督	菅原多敢弘
舞台制作顧問	牧野 優(びわ湖ホール)

	びわ湖		大分	札幌	山形	
	11月23日	11月24日	12月1日	12月7日	12月15日	カバー
かぐや姫	砂川涼子	高田瑞希	砂川涼子**			山岸裕梨
翁	迎 肇聡*					林 隆史*
媼	森 季子*					山内由香
帝	西田昂平					市川敏雅*
石作皇子 いしつくりのみこ	本康人					奥本凱哉
大將	有ヶ谷友輝 (職人・合唱兼ねる)					
庫持皇子 くらもちのみこ	大野光星					砂場拓也* 五島真澄*
阿倍御主人 あべのみうし	市川敏雅*					
大伴御行 おおとものみゆき	晴 雅彦**					
石上麻呂足 いそのかみのまろたり	平 欣史					
月よりの使者	徳田あさひ		渡辺玲美	徳田あさひ		佐々木真衣

各地域の出演

びわ湖ホール(管弦楽・・・日本センチュリー交響楽団)

合唱・・・公募にて地域の合唱愛好家が参加

ボーイソプラノ・・・大津児童合唱団より推薦で1名(小学校5年生)

iichiko総合文化センター(管弦楽・・・九州交響楽団)

合唱・・・大分県立芸術文化短期大学と大分二期会有志による合唱団

ボーイソプラノ・・・津久見檜の実少年少女合唱団より中学生1名

札幌コンサートホールKitara(管弦楽・・・札幌交響楽団)

合唱・・・本公演のため札幌市を中心に活動する混声合唱団「Baum」の所属メンバーを中心に結成

ボーイソプラノ・・・HBC 少年少女合唱団より小学生1名

やまぎん県民ホール(管弦楽・・・山形交響楽団)

合唱・・・山形で活動する音楽家(学生を含む)を中心として特別に結成された合唱団

ボーイソプラノ・・・地域の音楽家より推薦のあった小学生1名

オペラで味わう「竹取物語」

来月7日、キタラ 地元合唱団も参加

現存す日本最古の物語を題材にした歌劇「竹取物語」の公演が12月、日午後7時から、札幌コンサートホール・キヌタで開かれる。指揮宮尻

竜典が作曲した音楽の日本舞べで、2014年に横浜で初演。沼尻が昨年まで芸術監督を務めたびわ湖ホール（大津市）と札幌、山形、大

分各市のホールが連携し、新作作の舞台で巡回する。

「今は昔、竹取の翁とて始まるかぐや姫の物語。光り輝く竹から見つめられた女子は美しく成長し、5人の男から求婚されるが、

沼尻が古典をもとに台本を作成、昭和の歌謡曲を意識し、帰り道で口ずさめる曲を付けたといふ。びわ湖ホールでは15年、日本のオペラ界をけん引し昨年死去した栗山昌良の演出で、22年には栗山に師事した中村敏一にもうのメロク版で演じられた。

本公演は初の4組連演事業で、今月下旬のびわ湖ホールを皮切りに、同ホールの音楽アシスタントと各地のオーケラ、合唱団が共演する。

キタラ公演は、同ホール芸術監督阪谷昭博の指揮で、善哉家は札幌文化芸術フェスティバル、日本を代表するフットボール、砂川涼子（フジテレビ）がかぐや姫を演じる。札幌からは出演「B Team」の26人が出演予定。HCC少年少女合唱団所属の白木博世さん（札幌市立白樺小6年）が、求婚者の一人、石上麻呂子役の使者として、ボーイソプラノを披露する。

作品については「ワラシカルなものの歌謡曲、CMソングまで盛り。パロディや風刺の精神が全篇貫いている」とし、「作品が作曲家の手を離れ、各作となる貴重な時間を、札幌の皆さまと楽しめたら」と願う。

SS席8000円〜U25席2千円、問い合わせはキタラチケットセンター、電話011-540-0134（音縁音楽）

びわ湖ホールで2022年に上演された竹取物語の舞台



びわ湖ホールで2022年に上演された竹取物語の舞台

日本最古の物語を原作にした歌劇「竹取物語」が15日、山形市のやまぎん県民ホールで東北で初めて上演される。全国4館による共同制作オペラで、日本を代表する歌手らに加え、地元音楽家からも出演するのが特徴。プロの舞台上で山形大付属小5年の佐藤藤さん(11)が「石上麻呂足の使者」役として歌声を披露する予定で、「みんなの心が動くような美しい歌声を届けたい」と意気込んでいる。

佐藤さん(山形大付小5年)「石上麻呂足の使者」役

本公演は同ホールやびわ湖ホールなど4館が共同で制作・上演し、各地のフリオークスや市民が参加して創り上げる、ソラフン(川辺淳三さん、バリン・調律師さん)第一線で活躍する歌手が出演し、管弦楽は山形交響楽団、指揮は常任指揮者の阪西朗さんが務める。会場は山形大生を中心とした特別合唱団などが担い、誰もが知る「かぐや姫」の物語を親しみやすいメロディーで紡ぐ。

佐藤さんは4歳頃からピアノを始め、音楽家でもある教室の生が歌う姿を見て、歌に憧れるようになった。4年生が学校の合唱部に入るな「歌ってが大好き」

心動かすような歌声 届けたい

山形公演の合唱団を指導する渡辺修司山形大教授は「当初から比べて歌が出るようになり、随分成長した。今しか出せないような、今しか出せない状態を披露できるのでは」と期待して、また、東北芸術工科大との協力で、県内3カ所市民が参加し「竹取物語」をモチーフにしたアート作品も制作された。当日にホワイエで来場者を迎えるほか、13日まで共有スペースで展示している。開演は午後2時、チケットは一般4千〜9500円、25歳以下3500円、4250円、郷土券5券5席1万5千円。県民ホールなどで扱っている。

(伊藤律子)

石上麻呂足の使者役を務める佐藤藤さん。本番に向けて練習を重ねている。

山形市・やまぎん県民ホール

[illegible]

10

広報は各地で

[illegible][illegible][illegible][illegible]

関連企画の充実

びわ湖ホール

- 本キャストによるロビーコンサートの開催(11/10)
- 地元企業 叶匠寿庵とのコラボレーションお菓子
 ➡その後、各会場で販売(各会場で滋賀県のPR)
- シアターメイツ稽古見学会(30名程度、出演者への質問コーナーも実施)
- 小中学生のゲネプロ公開(2日間で567名)
- 学校巡回公演などで竹取物語のかぐやの aria を歌う



関連企画の充実

lichiko総合文化センター

演出家によるお話と出演者によるレクチャーコンサートを開催。

全て講師：中村敬一（演出家）

■第1回講座

2024年3月5日（火）18:30～19:30 大分県立美術館 1階 アトリウム

出演：迎 肇聡（翁／バリトン） 森 季子（媼／メゾソプラノ） 藤澤菜那（ピアノ）

■第2回講座

2024年3月10日（日）18:30～19:30 コンパルホール 3階 多目的ホール

出演：晴 雅彦（大伴御行／バリトン） 藤澤菜那（ピアノ）

■第3回講座

2024年11月3日（日・祝）13:30～15:00 iichiko SpaceBe リハーサル室

出演：高田瑞希（かぐや姫／ソプラノ） 藤澤菜那（ピアノ） 鶴原寛人（石上麻呂足の使者／ボーイソプラノ）



関連企画の充実

札幌コンサートホールKitara

- 音楽と食のコレボレーション
併設するレストランにてコラボレーションメニューの提供
- 札幌コンサートホール Kitara × 札幌文化芸術劇場 hitaru
オペラを“はしご”キャンペーン
(相互のオペラ関連4公演でスタンプラリーを実施、142通応募あり)



関連企画の充実

やまぎん県民ホール

■教えて！中村先生 歌劇『竹取物語』を10倍楽しむ鑑賞講座

講師：中村敬一（演出家）

2024年9月7日（土）15:00開演（14:30開場）

会場：やまぎん県民ホール2階スタジオ1

➡動画を作成し、4館広報に使用



■併設するモールとのコラボレーション

- ・レストランで作品をイメージしたオリジナルメニュー
- ・ショップで作品をイメージしたチーズケーキ

関連企画の充実

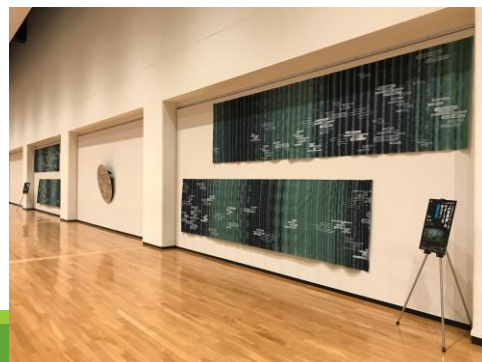
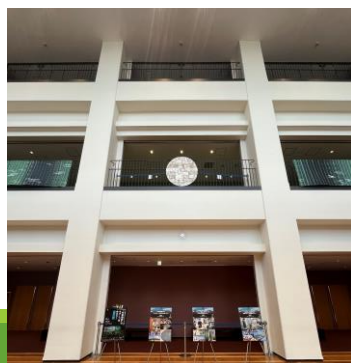
やまぎん県民ホール

■プロのクリエイターと一緒に『竹取物語』のモチーフを作ろう！

歌劇『竹取物語』の上演にむけて、地元の美術大学である東北芸術工科大学の教員を講師に招き、県内3会場（鶴岡、天童、長井）を巡回し、共にワークショップを開催。

陶芸・染色のプロ、学生と一緒に参加者全員（3会場計41名）で一つの大型作品を制作。

公演当日、ホワイエに作品を展示。



留学生招待

大津、大分、札幌では県の国際協会や大学などを通じて
各地の留学生を招待

➡大津36名、大分95名、札幌18名が来場。

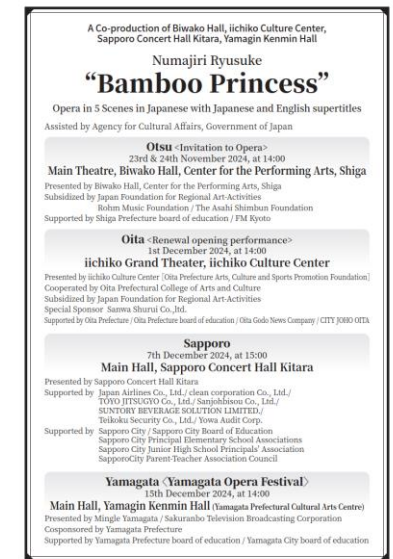


感想(抜粋)

I had a good experience watching Japanese beautiful opera performance.

No words can express my feelings. Wonderful! Thank you so much!

It was pretty good. I'll recommend it to my friends.



Title calligraphy: Yumoto Katsuhisa

成果①裾野の広がり(鑑賞者)

誰もが知る「物語」のオペラ作品の上演、地元の合唱、管弦楽の出演

➡オペラ初心者、青少年への鑑賞間口の広がり

●オペラを初めて鑑賞したと回答した割合(アンケート)

【大津】22% 【大分】未集計 【札幌】40% 【山形】36%

アンケート感想 「日本語ということではじめてトライしました」

「竹取物語をどのように表現しているかと興味がありました」

●青少年(25歳以下の来場者数) 平均14.3%

【大津】 計207名(10.1%) (初日96名(9%)/楽日111名(11%))

【大分】 171名(21.4%) 【札幌】170名(13.1%) 【山形】157名(12.6%)

成果②裾野の広がり(演奏者)

各地の合唱が出演

大津 合唱51名 大分 合唱26名

札幌 合唱24名 山形 合唱20名 各地ボーイソプラノ1名

➡ 出演機会の創出、各地の音楽愛好家の醸成

各地の音楽活動の活発化



成果③未来の担い手の育成

公演数の確保 → 歌手のレベルの底上げ

各地の合唱団(大学生、ボーイソプラノ)の出演、プロとの共演

→ 各地の未来の担い手の育成

◆公演評 音楽の友

「丁寧な日本語の処理と演技の幅の広さには 目を見張るものがあつた」

◆アンケートより

「先入観として台詞や歌詞が聞き取りづらいことを覚悟していましたが、

全くそんなことはなく声が響き、言葉も理解でき、嬉しかったです」(山形公演)

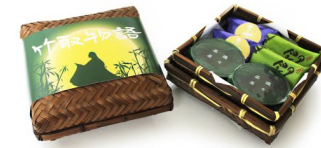
◆大分ボーイソプラノ出演者

「声楽アンサンブルの皆さんと同じ舞台に立てたことに、とても感動した」



成果④創造性の高い大規模公演

- ・地域の音楽家、愛好家の活性化
- ・各地の文化的人脈、コミュニティの構築、強化、発展
- ・関連企画の充実
- ・地域資源の活用



➡作品自体の創造性の高さだけでなく、
公演(作品)を通じて各地域の創造性を高め、発信力を強化

成果⑤交流の活発化

共同制作でしか成しえない人材交流、地域交流

・制作手法 ・広報活動

➡各地域の特色を活かした戦略、新しい発見、可能性

地域と地域の交流

地域から世界へ



ホワイエには各館のパンフレットも設置。
地域ではすべてなくなるなどお客様も興味津々

成果⑥可能性

●持続可能なオペラ公演

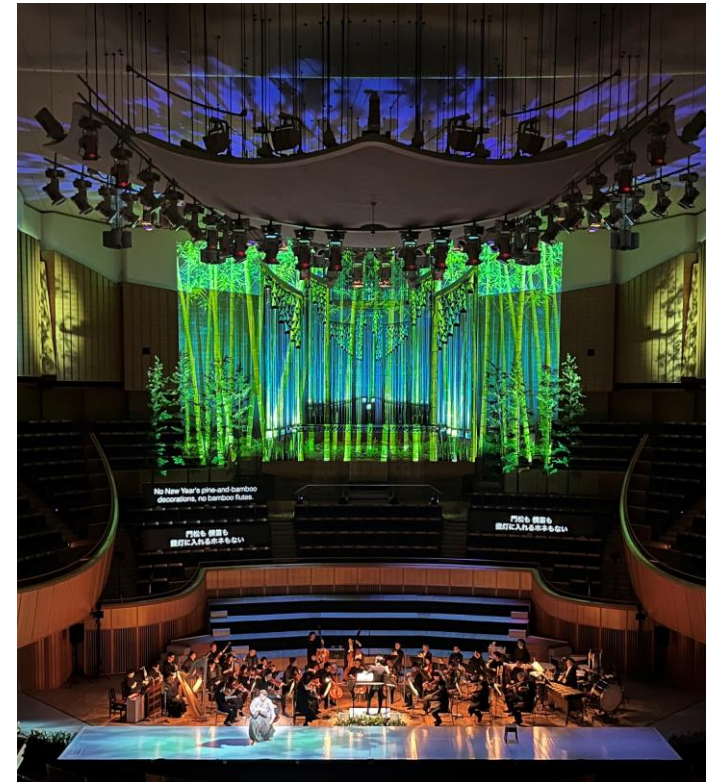
びわ湖ホール声楽アンサンブルの層の厚さ、実力の高さ

➡予算の大幅圧縮、機動性の高さ

●ホールでのオペラ公演の可能性

札幌コンサートホールでの実績

➡全国の「コンサートホール」でのオペラ上演の可能性



これから

- 創造性＝作品、演出の新規性だけでなく、地域の資源を活用し、創造性を高められるか
- 活発な交流を通じてノウハウの共有、新たな知見とともに地域の可能性を探すきっかけに
- 相互の地域の紹介、地域と地域の交流から世界へ

おわり

